

## LIBRARY



明日から11月！今年もあと2ヶ月とは…。世は読書週間です！

## 『歌われなかった海賊へ』 逢坂冬馬 早川書房 2023



デビュー作『同志少女よ、敵を撃て！』が2022年度ベストセラー第1位となった逢坂冬馬さんの注目の第2作！物語の舞台は1944年、ナチ体制下のドイツ。この時代若者たちの多くがヒトラー=ユーゲントの一員となりナチの思想に洗脳され、少年兵となってヒトラーに仕えた。しかし、ナチの体制に反抗した少年たちもいたのだ。史実を綿密に調べたうえで、魅力的なフィクションに仕立て上げる著者ならではの作品となっています。はたしてこのタイトルの意味は？

## 『文学キョーダイ』 奈倉有里・逢坂冬馬著 文藝春秋



ロシア文学を専門とし、翻訳もされている奈倉さんは、逢坂さんのお姉さん！昨年紫式部文学賞を受賞し、この世界では注目されています。同時期に本が注目されたこの二人はいったいどんな家庭に育ち、紆余曲折を経て今に至ったのかを語り合う本です。「出世しなさい」がない家で、自分の好きを見つけるために出会ったたくさんのお本たち。戦争の絶えない現代にあって文学の力を信じる姉弟の熱い思いに感激！

## 『伝言』 中脇初枝著 講談社 2023 913Na



主人公ひろみは満州生まれ。両親は貧しさから抜け出そうと日本を離れた。12歳になり憧れの新京敷島女学校に入学するが、数年前から始まっていた戦争は満州にも暗い影を落としていた。3年生になると学徒動員で風船爆弾を作る作業に従事するようになる。軍事機密で何を作っているのかも知らずに。日本が負けるといち早く民間人を見捨てて満州を去った関東軍。想像を絶する苦難の日々に初めてひろみは、自分が何も知らずしななかったことに愕然とする…。

## 『腹を空かせた勇者ども』 金原ひとみ著 河出書房新社



中学生の玲奈は、論が立つ母には、何を言っても勝てないので、距離を置いて接している。そんな母に恋人が現れ、始めこそモメていたが、やがて父は黙認。玲奈は納得できないものの、日常生活は滞りなく流れだす。そんなある日、母の恋人がコロナに感染。母は濃厚接触者となり、一緒に暮らす玲奈と父も検査が必要になってしまう。友達や先生に感染源は母の不倫相手…なんて言えるわけがない。玲奈は腹が立ってたまらない。腹が立つと空腹になる。そして食べる！

## 『図書館のお夜食』 原田ひ香著 講談社 2021



東北出身の乙葉は、地元の大きな書店の契約社員になるが、店長と衝突して辞めてしまった。書店での仕事の話や愚痴をSNSに書き続けた乙葉はダイレクトメールを受け取る。それが夜の図書館で働きませんか？というお誘いだったのだ。亡くなった作家の蔵書を寄贈してもらい、それを整理し、夜だけ開館する不思議な図書館。そしてそこで働く個性豊かな同僚たち。それから美味しいお夜食。連作短編集の形をとっていますが、司書だったらちょっと働きたくなるかも！

## 『「よく見る人」と「よく聴く人」』 広瀬浩二郎・相良啓子著



昨年、76回生のスピーチコンテストでゲスト講師の広瀬浩二郎さんが共著で岩波ジュニア新書を出されました。広瀬さんは中学の時に全盲に、相良さんは大学生の時に聴力を失いました。よく聴く広瀬さんと、よく見る相良さんが、お互いどうやって世界を広げてきたのかを語ります。目を閉じただけ、耳をふさいだだけでは、二人の豊かな世界を感じることはできません。自分が勝手に作りあげていた見えない人、聴こえない人のイメージの貧困さに気づかされるかも。

## 『根っからの悪人っているの？』 坂上香著 創元社 2023



著者は、『プリズンサークル』という映画を作った。刑務所の受刑者を追ったドキュメント映画だ。この本は、犯罪者とそうではない人との間にある見えない境界線の前に立った4人の10代との対話の記録でもある。4人は元加害者、被害者と話し合ってみる。はたして、同じ人間同士、わかりあうことはできるのだろうか。もっとも、何をもって「わかりあった」といえるのかも曖昧だ。ところであなたは、「根っからの悪人」っていると思いますか？

## 『10代のための疲れた体がラクになる本』 長沼睦雄著 誠文堂新光社



大人でだけでなく、子どもも、原因不明の体の不調に悩まされることはあります。この本は、2部構成になっていて、前半は「知識編」。体の疲れや不調がどういうメカニズムで起きるかを説明。後半の「実践編」は効果的なセルフケアの方法がたくさん紹介されています。セルフケアをすると、体や心の状態が回復していく。著者は、ラクになるための道は自分の体に何が起きているかをまず正しく知ることから始まる…と。朝起きられない、学校が疲れる、体に力が入らない…そんなことがあったら、早めにケアしよう。

## 『あなたを丸め込む「ずるい言葉」』 貴戸理恵著 WAVE出版



「わたしたち友だちでしょ」「仲間だろ」「みんなでやることに意義がある」こんな言葉をかけられたこと、あるいはかけたことがありますか？これらの言葉は、親密さを装いつつ「気が進まない」けど「そうしなきゃ」と相手に思わせるずるい言葉ではないかと著者は言います。みんながしているから、自分もしなければならぬ…それこそが同調圧力。その正体は一体何なのか？考えてみませんか。

## 『はじめての動物地理学』 増田隆一著 岩波ジュニア 2022



動物地理学とは、どこにどんな動物が分布しているかを調べ、さらには太古から動物たちがどのように移動してきたか、を明らかにする学問でもあります。たとえば北海道にしかないヒグマの世界的な分布を調べていくと、北海道と本州の間にある津軽海峡は動物地理境界線であることがわかってきます。この境界線を境に、動物の分布がガラリと変わるのでね。この境界線を名付けた人の名前をとってプラキストン線とも言うそうです。人類がどう広がっていったかを調べるように、動物もどう広がって行ったかを調べることで明らかになることがいろいろあるのじゃないかな。

10月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者	出版年
039372	024M	本のある空間採集	政木哲也 著	学芸出版社	2023/08
039354	159K	さみしい夜にはペンを持って	古賀史健	ポプラ社	2023/07
039407	159M	悩んでなんぼの青春よ	森毅 著	筑摩書房	2021/12
039400	210N	16 テーマで知る鎌倉武士の生活	西田友広	岩波書店	2022/08
039352	210N	AI とカラー化した写真でよみがえる戦前戦争	庭田杏珠他著	光文社	2020/07
039384	234C	14 歳から考えたいナチ・ドイツ	キャプラン	ずばる舎	2023/08
039387	234H	魔女とカルトのドイツ史	浜本隆志	講談社	2004/02
039383	289M	メルケル	カイ・マートン	文藝春秋	2021/11
039359	289Y	柳宗悦と美	土田真紀	玉川大学	2022/06
039348	293S	フィンランドは今日も平常運転	芹澤桂	大和書房	2022/06
039349	295	ニューヨーク、雨でも傘をさすのは私の自由	仁平綾	大和書房	2022/07
039410	3210	法は君のためにある	小貫篤 著	筑摩書房	2021/10
039390	367S	10 代のための性の世界の歩き方	櫻井裕子	時事通信	2023/04
039412	367T	なぜ親はうるさいのか	田房永子 著	筑摩書房	2021/12
039145	369I	聴こえない母に訊きに行く	五十嵐大	柏書房	2023/05
039394	382T	グローバリゼーションの中の江戸	田中優子	岩波書店	2012/06
039374	467T	ゆるゆる生物日誌	種田ことび 著	7=ブックス	2020/09
039373	481W	細密画で辿る生物進化の足跡	渡辺探朗	本の泉社	2023/06
039351	488K	鳥の骨格標本図鑑	川上和人	文一総合	2019/11
039411	490K	生命倫理のレッスン	小林亜津子	筑摩書房	2022/06
039413	491A	ウイルスって何だろう	青野由利	筑摩書房	2022/07
039364	524U	森と木と建築の日本史	海野聡	岩波書店	2022/04
039358	596M	カレーライスを一から作る	前田亜紀	ポプラ社	2017/11
039135	599K	なぜ親は「正しさ」を押しつけてしまうのか?	熊谷晋一郎 著	ジャパソムニスト	2020/10
039395	706K	美術館へ行こう	草薙奈津子	岩波書店	2013/03
039398	783M	ストライカーを科学する	松原良香 著	岩波書店	2019/09
039409	801I	ふしぎなことばことばのふしぎ	池上嘉彦	筑摩書房	2022/08
039414	811E	漢字が日本語になるまで	円満宇二郎	筑摩書房	2022/07
039408	816T	苦手から始める作文教室	津村記久子	筑摩書房	2022/09
039378	840N	ドイツのことば図鑑	野口真南 著	KADOKAWA	2019/11
039331	913	また君と出会う未来のために	阿部暁子 著	集英社	2018/10
039341	913Ha	ハーベスト = Harvest	花里真希 著	講談社	2023/04
039377	913Ha	あおいの世界 = Aoi's World	花里真希 著	講談社	2020/07
039381	913Ka	がいなもん松浦武四郎一代	河治和香	小学館	2023/07
039240	9130	僕が愛したすべての君へ	乙野四方宇	早川書房	2016/06
039295	913Yo	可燃物 = Combustible Substances	米澤穂信 著	文藝春秋	2023/07
039353	929U	5 番レーン	ウンソホル	鈴木出版	2022/06

### 図書委員会新企画 ブックカフェ

後期図書委員会がスタートしました。前期からお知らせしていた「校長先生の教育学談義」ですが、11月6日(月)の午後、生徒総会終了後に第1回を開催します。今回は、校長先生には「どうしてドイツの教育を研究しようと思ったのですか?」という質問に答えていただき、そのあとは校長先生がこんなテーマで皆さんと話したいというリストの1番上にあった、「日本の学校は世界一(ただし中学校まで)」というテーマをお願いしました。30分~40分ぐらいの時間を予定しています。聞いてみたいという1.2年生は、気軽に図書館に来てみてください。今後も月2回ぐらいで開催予定です。



こんなことやってます!



### 74 回家庭科 幼児と絵本



11月にこころ保育園で絵本の読み聞かせメインでふれあい体験を行う3年生。読みかたの練習中。

### 芸術発表会 図書委員会

ドイツってどんな国?



ドイツの歴史や地理、文化、教育などについて調べて本と一緒に展示しました。外部の見学者の方も見てくださったようです。

### 76 回生 国語 新書回転寿司



75回生に続き、76回生も新書回転寿司を行いました。こちらは、0類から9類までの親書を各テーブルに30冊用意。新書を人力で回転させるといふ渡邊先生のアイデアでしたが、とある班は、人間が新書の周りを回っていました。100分授業だったので、前半は紙の新書、後半は電子図書館にある新書を読んでもらいました。コロナ期間前半は、利用者もいた電子図書館ですが、その後は激減。これを機に、2.3年生は利用してね!1年生にも近々IDお知らせしますね。